



平成 25 年 12 月 10 日

各 位

会 社 名 川田テクノロジーズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 川田 忠裕  
(コード番号 3443 東証第 1 部)  
問合せ先 経理部長 宮田 謙作  
(TEL. 03-3915-7632)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 25 年 12 月 2 日付の当社適時開示「過年度決算修正による見込みの概要および決算発表予定日について」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 24 年 2 月 10 日付「平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線    を付して表示しています。

以 上

【訂正後】



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 (TEL) 03(3915)7722  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	58,561	△21.0	65	△97.6	△477	—	△429	—
23年3月期第3四半期	74,162	△9.1	2,732	△49.3	7,196	35.7	6,401	99.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △197百万円(—%) 23年3月期第3四半期 6,452百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年3月期第3四半期	円 銭 <u>△75.28</u>	円 銭 —
23年3月期第3四半期	<u>1,124.12</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年3月期第3四半期	百万円 <u>95,228</u>	百万円 <u>27,716</u>	% <u>28.9</u>
23年3月期	<u>100,124</u>	<u>28,198</u>	<u>28.0</u>

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 27,560百万円 23年3月期 28,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	△17.6	300	△86.6	300	△95.9	300	△90.6	52.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期3Q	5,781,070株	23年3月期	5,781,070株
24年3月期3Q	81,926株	23年3月期	81,781株
24年3月期3Q	5,699,213株	23年3月期3Q	5,694,811株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3.	四半期連結財務諸表 .....	4
(1)	四半期連結貸借対照表 .....	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3)	継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4)	セグメント情報等 .....	8
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4.	補足情報 .....	10
	受注、販売及び繰越高の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による経済活動の停滞から回復の兆しが見られた一方で、欧州における金融危機を背景とする海外景気の下振れ、歴史的な円高やタイで発生した洪水等の影響により、国内景気の先行きに対する不透明感が払拭できない状況が続いています。

建設業界につきましては、政府補正予算による震災の復旧・復興需要が一部に見受けられるものの、それ以外の公共工事は依然として低位推移の状況に変化はなく、民間工事においてもリーマンショックに因る滞った需要の大きな発現には至らず、受注をめぐる価格競争が継続するなど、厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、受注高は58,510百万円（前年同四半期比19.6%増）、売上高は58,561百万円（前年同四半期比21.0%減）となりました。

収益面につきましては、営業利益は65百万円（前年同四半期比97.6%減）、経常損失477百万円（前年同四半期は経常利益7,196百万円）、四半期純損失429百万円（前年同四半期は四半期純利益6,401百万円）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

## （鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、年度繰越工事高の減少に加え、当期の売上高に寄与する受注物件の割合が少なかったことにより、売上高は31,904百万円（前年同四半期比26.9%減）となりました。収益面では、前年実績に比べ低採算の工事が増加したことにより、営業利益は1,428百万円（前年同四半期比58.4%減）となりました。

## （土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、受注高は増加したものの年度繰越工事高の減少が影響し、売上高は15,392百万円（前年同四半期比26.0%減）と前年実績を下回る結果となりました。収益面では、販売費及び一般管理費の圧縮に努めたものの、売上高の減少により収益性が低下したことから、26百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益574百万円）の計上となりました。

## （建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、工場・事務所・倉庫など非住宅系建物の施工が順調に推移したことで、売上高は7,502百万円（前年同四半期比30.5%増）となりました。収益面では、事業採算の改善に向けコスト削減に努めた結果、営業利益175百万円（前年同四半期は営業損失69百万円）と採算を確保することができました。

(その他)

その他におきましては、売上高は4,877百万円（前年同四半期比8.6%減）と前年実績に比べ僅かに減少となりました。収益面では、震災による航空運送事業の採算性の悪化が大きく影響し、営業損失514百万円（前年同四半期は営業損失10百万円）の計上となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間における「資産の部」は、95,228百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,895百万円（△4.9%）減少しました。これは主に前連結会計年度末までに完成した工事債権の回収及び受取手形の決済等が進み、受取手形・完成工事未収入金等が3,913百万円減少し、また未収保険債権・税金還付債権などの回収により流動資産「その他」が1,085百万円減少したことによるものであります。

また、「負債の部」は、67,512百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,412百万円（△6.1%）減少しました。これは主に支払手形・工事未払金等が1,970百万円減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は27,716百万円となり、前連結会計年度末に比べ482百万円（△1.7%）減少しました。これは主に剰余金の配当により284百万円減少し、四半期純損失の計上により429百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の連結業績予想の内容と変更はございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	6,722	6,491
受取手形・完成工事未収入金等	38,114	34,200
未成工事支出金	602	1,005
その他のたな卸資産	676	693
繰延税金資産	49	—
その他	3,093	2,007
貸倒引当金	△263	△243
流動資産合計	48,995	44,155
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	5,213	5,215
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	1,840	1,537
航空機(純額)	809	1,470
土地	16,484	16,985
リース資産(純額)	2,670	2,647
建設仮勘定	67	45
有形固定資産合計	27,085	27,902
無形固定資産		
投資その他の資産	973	920
投資有価証券	794	753
関係会社株式	19,592	19,249
長期貸付金	542	529
繰延税金資産	25	—
その他	3,108	2,357
貸倒引当金	△1,016	△656
投資その他の資産合計	23,046	22,233
固定資産合計	51,105	51,055
繰延資産		
創立費	23	17
繰延資産合計	23	17
資産合計	100,124	95,228

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	21,398	19,428
短期借入金	11,601	11,275
1年内返済予定の長期借入金	6,290	6,163
1年内償還予定の社債	358	190
未払法人税等	83	56
繰延税金負債	—	23
未成工事受入金	3,501	2,843
賞与引当金	810	372
完成工事補償引当金	62	109
工事損失引当金	3,319	2,538
損害補償損失引当金	805	789
災害損失引当金	77	—
資産除去債務	5	5
その他	3,342	3,202
流動負債合計	51,657	46,998
固定負債		
社債	335	230
長期借入金	11,180	11,804
繰延税金負債	—	64
再評価に係る繰延税金負債	2,243	1,979
退職給付引当金	3,204	3,215
役員退職慰労引当金	284	273
事業構造改善引当金	300	300
資産除去債務	141	142
負ののれん	306	292
その他	2,271	2,212
固定負債合計	20,267	20,513
負債合計	71,925	67,512
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	12,776	12,062
自己株式	△276	△276
株主資本合計	27,868	27,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	13
土地再評価差額金	99	363
為替換算調整勘定	3	28
その他の包括利益累計額合計	134	405
少数株主持分	196	155
純資産合計	28,198	27,716
負債純資産合計	100,124	95,228



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	74,162	58,561
売上原価	66,512	53,975
売上総利益	7,649	4,585
販売費及び一般管理費	4,917	4,519
営業利益	2,732	65
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	39	41
受取賃貸料	166	171
貸倒引当金戻入額	—	330
負ののれん償却額	15	15
持分法による投資利益	5,208	—
その他	105	114
営業外収益合計	5,544	683
営業外費用		
支払利息	666	624
賃貸費用	352	383
持分法による投資損失	—	141
その他	61	77
営業外費用合計	1,080	1,226
経常利益又は経常損失(△)	7,196	△477
特別利益		
前期損益修正益	20	—
固定資産売却益	26	—
貸倒引当金戻入額	196	—
役員退職慰労引当金戻入額	5	—
保険差益	—	367
その他	5	63
特別利益合計	254	430
特別損失		
固定資産売却損	8	0
固定資産除却損	24	20
投資有価証券評価損	98	5
たな卸資産評価損	—	43
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	122	—
災害による損失	—	81
その他	31	26
特別損失合計	285	178
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7,165	△225
法人税、住民税及び事業税	132	71
過年度法人税等	12	—
法人税等調整額	585	169
法人税等合計	731	240
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	6,434	△466
少数株主利益又は少数株主損失(△)	32	△37
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,401	△429

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	6,434	△466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	△32
土地再評価差額金	—	264
持分法適用会社に対する持分相当額	△28	36
その他の包括利益合計	18	268
四半期包括利益	6,452	△197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,420	△157
少数株主に係る四半期包括利益	32	△39

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	42,925	20,425	5,745	69,096	5,065	74,162
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	739	366	4	1,109	268	1,378
計	43,664	20,791	5,749	70,206	5,334	75,540
セグメント利益又は損失(△)	3,435	574	△69	3,940	△10	3,929

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,940
「その他」の区分の損失(△)	△10
セグメント間取引消去	161
全社費用(注)	△1,486
その他の調整額	127
四半期連結損益計算書の営業利益	2,732

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	31,309	15,117	7,499	53,926	4,634	58,561
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	594	274	2	872	242	1,115
計	31,904	15,392	7,502	54,799	4,877	59,676
セグメント利益又は損失(△)	1,428	△26	175	1,577	△514	1,063

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,577
「その他」の区分の損失(△)	△514
セグメント間取引消去	105
全社費用(注)	△1,202
その他の調整額	99
四半期連結損益計算書の営業利益	65

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 受注、販売及び繰越高の状況

## (1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	25,184	51.5	24,770	42.3	△413	△1.6
土木	11,164	22.8	20,781	35.5	9,616	86.1
建築	6,858	14.0	7,356	12.6	498	7.3
その他	5,704	11.7	5,602	9.6	△102	△1.8
合計	48,911	100.0	58,510	100.0	9,598	19.6

## (2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	43,664	57.8	31,904	53.4	△11,760	△26.9
土木	20,791	27.5	15,392	25.8	△5,399	△26.0
建築	5,749	7.6	7,502	12.6	1,752	30.5
その他	5,334	7.1	4,877	8.2	△457	△8.6
合計	75,540	100.0	59,676	100.0	△15,863	△21.0

## (3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間末 (平成22年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成23年12月31日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	38,696	58.5	34,892	49.7	△3,804	△9.8
土木	19,505	29.5	27,171	38.7	7,665	39.3
建築	6,841	10.4	6,639	9.5	△201	△3.0
その他	1,057	1.6	1,483	2.1	426	40.4
合計	66,101	100.0	70,187	100.0	4,086	6.2

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。

【訂正前】



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 川田テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 3443 URL http://www.kawada.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 (TEL) 03(3915)7722  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	58,561	△21.0	65	△97.6	△362	—	△412	—
23年3月期第3四半期	74,162	△9.1	2,732	△49.3	3,155	△39.9	6,221	96.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △205百万円(—%) 23年3月期第3四半期 6,241百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
24年3月期第3四半期	円 銭 <u>△72.33</u>	円 銭 —
23年3月期第3四半期	<u>1,092.54</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
24年3月期第3四半期	百万円 <u>94,921</u>	百万円 <u>27,116</u>	% <u>28.4</u>
23年3月期	<u>99,864</u>	<u>27,607</u>	<u>27.5</u>

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 26,991百万円 23年3月期 27,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	△17.6	300	△86.6	300	△90.8	300	△90.9	52.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 ( )、除外 一社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年3月期3Q	5,781,070株	23年3月期	5,781,070株
24年3月期3Q	81,926株	23年3月期	81,781株
24年3月期3Q	5,699,213株	23年3月期3Q	5,694,811株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は実施中ではありません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3)	継続企業の前提に関する注記	8
(4)	セグメント情報等	8
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4.	補足情報	10
	受注、販売及び繰越高の状況	10



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響による経済活動の停滞から回復の兆しが見られた一方で、欧州における金融危機を背景とする海外景気の下振れ、歴史的な円高やタイで発生した洪水等の影響により、国内景気の先行きに対する不透明感が払拭できない状況が続いています。

建設業界につきましては、政府補正予算による震災の復旧・復興需要が一部に見受けられるものの、それ以外の公共工事は依然として低位推移の状況に変化はなく、民間工事においてもリーマンショックに因る滞った需要の大きな発現には至らず、受注をめぐる価格競争が継続するなど、厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、受注高は58,510百万円（前年同四半期比19.6%増）、売上高は58,561百万円（前年同四半期比21.0%減）となりました。

収益面につきましては、営業利益は65百万円（前年同四半期比97.6%減）、経常損失362百万円（前年同四半期は経常利益3,155百万円）、四半期純損失412百万円（前年同四半期は四半期純利益6,221百万円）の計上となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

## （鉄構セグメント）

鉄構セグメントにおきましては、年度繰越工事高の減少に加え、当期の売上高に寄与する受注物件の割合が少なかったことにより、売上高は31,904百万円（前年同四半期比26.9%減）となりました。収益面では、前年実績に比べ低採算の工事が増加したことにより、営業利益は1,428百万円（前年同四半期比58.4%減）となりました。

## （土木セグメント）

土木セグメントにおきましては、受注高は増加したものの年度繰越工事高の減少が影響し、売上高は15,392百万円（前年同四半期比26.0%減）と前年実績を下回る結果となりました。収益面では、販売費及び一般管理費の圧縮に努めたものの、売上高の減少により収益性が低下したことから、26百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益574百万円）の計上となりました。

## （建築セグメント）

建築セグメントにおきましては、工場・事務所・倉庫など非住宅系建物の施工が順調に推移したことで、売上高は7,502百万円（前年同四半期比30.5%増）となりました。収益面では、事業採算の改善に向けコスト削減に努めた結果、営業利益175百万円（前年同四半期は営業損失69百万円）と採算を確保することができました。

(その他)

その他におきましては、売上高は4,877百万円（前年同四半期比8.6%減）と前年実績に比べ僅かに減少となりました。収益面では、震災による航空運送事業の採算性の悪化が大きく影響し、営業損失514百万円（前年同四半期は営業損失10百万円）の計上となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間における「資産の部」は、94,921百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,943百万円（△4.9%）減少しました。これは主に前連結会計年度末までに完成した工事債権の回収及び受取手形の決済等が進み、受取手形・完成工事未収入金等が3,913百万円減少し、また未収保険債権・税金還付債権などの回収により流動資産「その他」が1,085百万円減少したことによるものであります。

また、「負債の部」は、67,805百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,451百万円（△6.2%）減少しました。これは主に支払手形・工事未払金等が1,970百万円減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は27,116百万円となり、前連結会計年度末に比べ491百万円（△1.8%）減少しました。これは主に剰余金の配当により284百万円減少し、四半期純損失の計上により412百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の連結業績予想の内容と変更はございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	6,722	6,491
受取手形・完成工事未収入金等	38,114	34,200
未成工事支出金	602	1,005
その他のたな卸資産	676	693
繰延税金資産	205	34
その他	3,093	2,007
貸倒引当金	△263	△243
流動資産合計	49,150	44,190
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物（純額）	5,213	5,215
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,840	1,537
航空機（純額）	809	1,470
土地	16,484	16,985
リース資産（純額）	2,670	2,647
建設仮勘定	67	45
有形固定資産合計	27,085	27,902
<b>無形固定資産</b>	973	920
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	794	753
関係会社株式	19,176	18,907
長期貸付金	542	529
繰延税金資産	25	—
その他	3,108	2,357
貸倒引当金	△1,016	△656
投資その他の資産合計	22,630	21,891
固定資産合計	50,689	50,713
<b>繰延資産</b>		
創立費	23	17
繰延資産合計	23	17
<b>資産合計</b>	<b>99,864</b>	<b>94,921</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	21,398	19,428
短期借入金	11,601	11,275
1年内返済予定の長期借入金	6,290	6,163
1年内償還予定の社債	358	190
未払法人税等	83	56
未成工事受入金	3,501	2,843
賞与引当金	810	372
完成工事補償引当金	62	109
工事損失引当金	3,319	2,538
損害補償損失引当金	805	789
災害損失引当金	77	—
資産除去債務	5	5
その他	3,342	3,202
流動負債合計	51,657	46,975
固定負債		
社債	335	230
長期借入金	11,180	11,804
繰延税金負債	—	64
再評価に係る繰延税金負債	2,243	1,979
退職給付引当金	3,204	3,215
役員退職慰労引当金	284	273
事業構造改善引当金	300	300
資産除去債務	141	142
負ののれん	637	607
その他	2,271	2,212
固定負債合計	20,599	20,829
負債合計	72,257	67,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	10,368	10,368
利益剰余金	12,220	11,523
自己株式	△276	△276
株主資本合計	27,312	26,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	12
土地再評価差額金	99	363
その他の包括利益累計額合計	129	375
少数株主持分	165	125
純資産合計	27,607	27,116
負債純資産合計	99,864	94,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	74,162	58,561
売上原価	66,512	53,975
売上総利益	7,649	4,585
販売費及び一般管理費	4,917	4,519
営業利益	2,732	65
営業外収益		
受取利息	8	10
受取配当金	39	41
受取賃貸料	166	171
貸倒引当金戻入額	—	330
負ののれん償却額	31	31
持分法による投資利益	1,152	—
その他	105	114
営業外収益合計	1,503	699
営業外費用		
支払利息	666	624
賃貸費用	352	383
持分法による投資損失	—	42
その他	61	77
営業外費用合計	1,080	1,127
経常利益又は経常損失(△)	3,155	△362
特別利益		
前期損益修正益	20	—
固定資産売却益	26	—
貸倒引当金戻入額	196	—
役員退職慰労引当金戻入額	5	—
保険差益	—	367
負ののれん発生益	3,860	—
その他	5	63
特別利益合計	4,115	430
特別損失		
固定資産売却損	8	0
固定資産除却損	24	20
投資有価証券評価損	98	5
たな卸資産評価損	—	43
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	122	—
災害による損失	—	81
その他	31	26
特別損失合計	285	178
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	6,985	△110
法人税、住民税及び事業税	132	71
過年度法人税等	12	—
法人税等調整額	585	268
法人税等合計	731	339
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	6,254	△449
少数株主利益又は少数株主損失(△)	32	△37
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,221	△412

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	6,254	△449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△32
土地再評価差額金	—	264
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	11
その他の包括利益合計	△12	243
四半期包括利益	6,241	△205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,209	△165
少数株主に係る四半期包括利益	32	△39

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	42,925	20,425	5,745	69,096	5,065	74,162
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	739	366	4	1,109	268	1,378
計	43,664	20,791	5,749	70,206	5,334	75,540
セグメント利益又は損失(△)	3,435	574	△69	3,940	△10	3,929

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,940
「その他」の区分の損失(△)	△10
セグメント間取引消去	161
全社費用(注)	△1,486
その他の調整額	127
四半期連結損益計算書の営業利益	2,732

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	31,309	15,117	7,499	53,926	4,634	58,561
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	594	274	2	872	242	1,115
計	31,904	15,392	7,502	54,799	4,877	59,676
セグメント利益又は損失(△)	1,428	△26	175	1,577	△514	1,063

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発・販売、航空、補修、その他機械の販売、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,577
「その他」の区分の損失(△)	△514
セグメント間取引消去	105
全社費用(注)	△1,202
その他の調整額	99
四半期連結損益計算書の営業利益	65

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



## 4. 補足情報

## 受注、販売及び繰越高の状況

## (1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	25,184	51.5	24,770	42.3	△413	△1.6
土木	11,164	22.8	20,781	35.5	9,616	86.1
建築	6,858	14.0	7,356	12.6	498	7.3
その他	5,704	11.7	5,602	9.6	△102	△1.8
合計	48,911	100.0	58,510	100.0	9,598	19.6

## (2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	43,664	57.8	31,904	53.4	△11,760	△26.9
土木	20,791	27.5	15,392	25.8	△5,399	△26.0
建築	5,749	7.6	7,502	12.6	1,752	30.5
その他	5,334	7.1	4,877	8.2	△457	△8.6
合計	75,540	100.0	59,676	100.0	△15,863	△21.0

## (3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間末 (平成22年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間末 (平成23年12月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	38,696	58.5	34,892	49.7	△3,804	△9.8
土木	19,505	29.5	27,171	38.7	7,665	39.3
建築	6,841	10.4	6,639	9.5	△201	△3.0
その他	1,057	1.6	1,483	2.1	426	40.4
合計	66,101	100.0	70,187	100.0	4,086	6.2

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。